

教員免許状更新講習授業概要書（シラバス）

F10

大阪府立大学

講習名		学校コラボレーションⅢ「学校カウンセリング・不登校問題と教育の多様化」		
<p>〔概要〕 学校教育が抱える課題に対して、教育分野のみならず心理分野・社会福祉分野が協力連携してアプローチする「学校コラボレーション」。その3回シリーズ講座の第3回として、不登校問題を一つの切り口に、臨床心理・学校カウンセリングの観点、教育と医療の社会的な観点、フリースクール等の多様なオルタナティブ教育の観点から考えます。3回シリーズを通じた受講が望ましい。</p>				
日	時間割	担当者		授業内容
		所属・職名	氏名	
2019年8月21日（水）	9:30~9:40	地域保健学域 教授	吉田 敦彦	オリエンテーション
	第1時限 9:40~11:25			2017年、フリースクールや夜間中学校などの多様な教育機会の確保に向けた新法が発効した。日本での不登校児童・生徒の通う「フリースクール」、シュタイナー学校などNPO立で学校を創ってきた「もうひとつの学び舎」、「インターナショナルスクール」等、多様な学びのニーズに応じた学習権保障をめぐる最近の動向を紹介し、その意義を共有します。
	試験 11:35~11:50			試験
	昼食休憩			
	第2時限 13:00~14:45	現代システム科学 域 准教授	工藤 宏司	不登校の社会学：われわれは子どもの「問題行動」に直面すると、行為者たる子ども自身に関心を集中させます。しかし、講師の専門領域である社会学では、むしろそうした「行為者」を眼差す「社会」の成員の側に関心をやり、その相互関係に着目します。この講義では「問題行動」に「社会」と「行為者」との関係性の視点からアプローチする「相互行為論」という見方を紹介し、その意義を考えます。
	試験 14:55~15:10			試験
	第3時限 15:30~17:15	現代システム科学 域 准教授	高橋 幸治	学校カウンセリング：不登校の事例を通して、学校における心理学的なカウンセリングの意義、実際的な問題、課題などを、こころの観点から考えます。討議形式を取り入れ、問題に関わる教師の考え方や姿勢について検討を行います。
	試験 17:25~17:40			試験
	17:40~17:50			事後アンケート
	持参するもの	筆記用具		

備考	
----	--